

# 長崎市(九州・沖縄ブロック)

【計画期間 平成27年4月～32年3月】

長崎市は、九州の西端に位置し、東シナ海を介してアジア大陸に面した地理的特性と、東アジアを対馬海流が北進するという自然的特性から航路が発達し、1571年の開港以来、世界に開かれた貿易港・文化の窓口として著しく発展した。  
 中心市街地が果たす機能は、長崎市が発展してきた地理的特性を背景から、市域を大きく超えて効果をもたらしており、西九州最大の商業集積を誇るほか、多彩な歴史に培われた文化資源等を背景とした観光資源の面では、日本有数の集積を誇る重要な区域である。現在、人口約43万人 市域406.47km<sup>2</sup>

## 【中心市街地を巡る状況】

- 長崎街道の出発点である新大工地区から西九州最大の商業集積を有する浜町を経て、中華街や旧居留地を貫く「まちなか軸」を中心に構成。
- 「長崎駅」及び「長崎港」が都市の中心的な玄関口として機能している。
- 市街地の拡大・外延化に伴う人口の空洞化、産業構造の転換による基幹産業の低迷、郊外への大型店舗の立地等により、徐々にその求心力を失いつつある。

## 【中心市街地に関する指標の推移】

- 歩行者通行量(平日・休日平均)  
 H17:159,690人 → H26:129,325人 (▲30,365人、▲19.0%)
- 中心市街地における小売業年間商品販売額(H26は推定値)  
 H16:1,833億円 → H26:1,537億円 (▲296億円、▲16.1%)
- 主要観光施設入場者数  
 H18:1,085,648人 → H25:857,898人 (▲227,750人、▲21.0%)

## 【活性化に向けたテーマ】

- 「長崎特有の歴史と文化を活かした、魅力と活力のあるまちづくり」

## ■計画の目標

目標	指標	基準値	目標値
まちなかの にぎわいの創出	歩行者通行量 (人/日)	平日:133,221人 休日:125,438人 (H26年度)	平日:140,100人 休日:131,700人 (H31年度)
商業の活性化	中心市街地における小売業年間商品販売額 (億円/年)	1,537億円 (H26)	1,570億円 (H31)
交流人口の拡大	主要観光施設入場者数 (人/年)	857,898人 (H25年度)	931,400人 (H31年度)

### 集客拠点間の回遊による賑わいの創出

- 【主要事業】
- ・交流拠点施設整備事業
  - ・新市庁舎建設事業
  - ・新市立病院建設事業
  - ・岩原川周辺環境整備事業

など

### 魅力と活力のある商業環境の形成

- 【主要事業】
- ・新大工町地区市街地再開発事業
  - ・浜町地区市街地再開発事業
  - ・まちなか商業人材サポート事業
  - ・まちなか商店街誘客事業

など

### 歴史と文化による個性あるまちづくりの推進

- 【主要事業】
- ・出島表門橋架橋整備事業
  - ・出島和蘭商館跡復元事業
  - ・まちなか回遊路整備事業
  - ・唐人屋敷顕在化事業

など

# 長崎市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 集客拠点間の回遊による賑わいの創出

### ①交流拠点施設整備事業

人が集まりやすく交通アクセスの良い新長崎駅の隣接地において、大規模な学会や会議、地域住民が交流できる施設を整備することにより、賑わいの創出を図る。

### ②新市庁舎建設事業

老朽化した市庁舎の建替えとあわせて、災害復興拠点機能や多目的利用が可能な空間を整備することにより、市民が親しみやすい機能を設置する。

### ③新市立病院建設事業

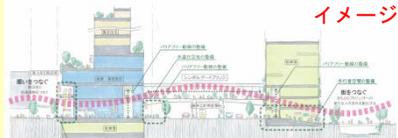
老朽化、狭あい化した市民病院及び成人病センターを廃止・統合し地域医療拠点施設を設置することにより、まちなかの賑わい創出にも寄与する。



## 魅力と活力のある商業環境の形成

### ④新大工町地区市街地再開発事業

中心的な商業施設を市街地再開発事業により更新することで、地域活力の維持向上と賑わいの再生を図る。住居整備も含むことから、まちなか居住にも寄与する。



### ⑤浜町地区市街地再開発事業

まちなかの中核をなす同地区にて市街地再開発事業を実施することにより、陸と海の玄関口からまちなかへの回遊を高め、活性化を図る。



### ○まちなか商業人材サポート事業

商業者や地域住民が、セミナーやワークショップを通じてまちづくりに対する考え方や手法を学んでもらうことにより、継続的な活性化への取組みを推進する。

## 歴史と文化による個性あるまちづくりの推進

### ⑥出島表門橋架橋整備事業

鎖国時代の象徴的な建造物である出島表門橋と対岸の中島川公園を一体的に修景整備し、観光客及び市民の集いの空間を創出する。



### ⑦唐人屋敷顕在化事業

鎖国時代における日中交流の拠点としての歴史的価値を顕在化し、住環境の改善やまち歩き型の観光拠点を整備する。

### ○まちなか回遊路整備事業

長崎の歴史的、文化的な特徴に配慮した、歩いて楽しい回遊路を整備することにより、魅力及び賑わいの向上に寄与する。

